

【開会挨拶】

和歌山県町村会定期総会 開会挨拶

本日ここに、第94回 和歌山県町村会 定期総会を開催いたしましたところ、仁坂県知事様をはじめ、御来賓の皆様には、公務御多忙のところを御臨席賜り厚く御礼申し上げます。

また、町村長の皆様には、御多用のなか御出席をいただき、心から感謝申し上げます。

本日、自治功労者の表彰を受けられる69名の皆様には、永年に亘りそれぞれの職務に精励され、町村自治の振興発展に大きく貢献された功績が認められたものであり、ここに深く敬意と感謝の意を表するとともに、心からお祝い申し上げます。

さて、現下の町村を取り巻く環境は、過疎化、少子高齢化の進行に加え、未曾有の経済不況のなか極めて厳しい状況にあり、町村の基幹産業である農林水産業、商工業にも深刻な影響が予想され、早急な対策を講じることが求められております。

このような状況をうけ政府は、大型の経済対策を含む平成21年度当初予算に続き、公共事業の地方負担のうち約9割を国が肩代わりする「地域活性化・公共投資臨時交付金」と「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」を柱とした「安心と活力」の実現のための第一次補正予算を編成し、国会で審議が進められているところであります。

私たち町村長は、厳しい財政状況の下、これらの国の予算を積極的に活用し、町村の財政負担の軽減と地方が自由に使える財源の確保を図り、創意と工夫を凝らしながら、様々な行政課題に取り組み、活力と魅力ある地域づくりに向け邁進していかなければなりません。

また、地方分権改革推進委員会の第三次勧告が、今年の秋までずれ込むことになりましたが、先日、直轄工事負担金に関する意見書が提出され、また、国の出先機関改革、地方分権改革等について議論が行われております。さらに、地方制度調査会の基礎自治体のあり方に関する動向も、今後、注視していかなければなりません。

本会といたしましては、全国町村会をはじめ関係諸団体との連携を一層深め、町村が抱え、山積する様々な課題の解決に向けて、全力を尽くして参る所存でございます。

すので、仁坂県知事様をはじめ御来賓の皆様方におかれましては、これまで以上の御指導・御支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、本総会の議事といたしまして、お手許に配布のとおり、平成19年度の決算、平成20年度の事業報告及び補正予算並びに平成21年度事業計画・予算の報告をすることとしております。

また、これらの案件の他、議案第1号の「決議」、議案第2号の「和歌山県町村会規約の一部改正」につきましても、本年2月13日開催の理事会において、十分審議され、それぞれ可決・認定をいただいておりますので、よろしく願いいたします。

なお、本総会をもちまして、私ども正副会長の任期が満了となります。

今日までの御協力に心から厚く御礼を申し上げますとともに、後任の正副会長の選任につきましても、お諮りすることにいたしておりますので、よろしくお願い申し上げます。

終わりに、御参会の皆様方の御健勝と御活躍をお祈りいたしまして、開会のごあいさつとさせていただきます。

ありがとうございました。

